



# 新生児聴覚スクリーニング 検査を受けましょう！



©茂富 楓



生まれつき耳の聴こえにくいお子さんは、1,000人におよそ1~2人とされています。聞こえにくさを早期に把握し、適切な対応をすることで、その後の言葉の発達や、より良いコミュニケーションの獲得につながるとされています。

聴こえにくいかどうかは外見では分かりにくく、赤ちゃんの様子だけで判断するのは難しいため、早期に発見するためにも新生児聴覚スクリーニング検査を受けましょう。



©茂富 楓

## 新生児聴覚 スクリーニング検査とは



©茂富 楓

検査は出産後、産科医療機関に入院中などに行われます。検査は赤ちゃんがぐっすり眠っているときに、小さな音を聴かせその際の反応波形を判定します。痛みや副作用もなく、安全に行うことができます。

スクリーニング検査の結果、必要な方は精密検査となりますが、聴こえに心配がないお子さんでも、中耳にたまった羊水や耳垢などにより、音が得られず、精密検査が必要となる場合があります。より詳しい精密検査が必要となった場合は、必ず受けるようにしてください。

また、検査の結果「パス（異常なし）」であっても、成長の過程で中耳炎やおたふくかぜ等の後で耳の聴こえが悪くなる場合もあります。

子育ての中で、お子さんの聴こえなどについて心配なことがあるときは、主治医や母子健康包括支援センターだっこ♪にご相談ください。

※新生児聴覚スクリーニング検査の費用は有料（自己負担有り）です。金額は医療機関によって異なります。また検査を実施している医療機関と実施していない医療機関がありますので、詳しくは出産医療機関にご相談ください。



©茂富 楓

### 【問い合わせ先】

雲南市母子健康包括支援センターだっこ♪

（雲南市役所健康福祉部健康推進課内）

〒699-1392 雲南市木次町里方 521-1

電話：0854-40-1045 FAX:0854-40-1049



©茂富 楓

だっこ♪では、子育てのご相談等に保健師、母子保健コーディネーター、  
歯科衛生士、栄養士等が随時お答えします。お気軽にお問い合わせください。